

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

平成 31(2019)年 3 月 27 日号 多治見市教育委員会 教育総務課

平成 30 年度 教育長賞詞

	個人又は団体名	受賞区分	活動概要
1	南姫中学校生徒会	チャレンジ	「仲間の思いをつなげ広げる」をスローガンにボランティアを工夫
2	笠原中学校MSJリーダーズ	思いやり	毎週月曜町内3カ所で開催して地域に貢献
3	精華小学校福祉委員会	思いやり	「ありがとうをひろめようキャンペーン」でよさみつけ活動を通して、全校の温かい人間関係づくりを実現
4	池田小学校児童会及び児童	元気	池田オリンピックを企画し全校の温かい人間関係づくりに貢献
5	池田小学校通学班長および6年生	チャレンジ	地域と連携して通学路の安全点検を実施し、仲間の安心安全に貢献
6	脇之島小学校代表委員会	元気	「伝説の挨拶スペシャリスト」企画で全校の挨拶の向上に貢献
7	かさはらいこまい祭祭プロデューサー	思いやり	祭りの企画から運営、司会まで深く関わり、地域振興に大きく貢献
8	脇之島校区青少年まちづくり市民会議子どもスタッフ(13名)長谷川慶乃、山田薫、大継華、若井萌恵、水谷柚良、三好桃華、大嶋沙奈、石川結己、松浦卓弥、信藤康太、廣田順子、今村心琴、前田紗弥	思いやり	校区青少年まちづくり市民会議の子どもスタッフとして何年にもわたり、少年の主張大会、区民大会等の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
9	精華校区青少年まちづくり市民会議青少年役員(5名)志水美紅、中村莉子、山内穂乃佳、吉田蒼葉、中村晃子	思いやり	校区青少年まちづくり市民会議の青少年役員として何年にもわたり、公民館祭り、ふるさと夏祭り、ふれあい餅つき大会、花の里親運動等の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
10	市之倉校区青少年まちづくり市民会議子どもスタッフ(6名)坪内玲衣奈、田京妃羅々、長谷川あかり、久野愛加、打田璃空乃、元島珠琴	思いやり	校区青少年まちづくり市民会議の子どもスタッフとして何年にもわたり、わたしの主張大会、夏祭り、盆踊りあんどん大会、どんど焼き等の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
11	昭和校区青少年まちづくり市民会議ボランティア(2名)石川藍衣、田中万愛	思いやり	校区青少年まちづくり市民会議のボランティアとして何年にもわたり、各種行事の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
12	共栄児童館子どもスタッフ(2名)上野陽葵、谷川凜	思いやり	共栄児童館の子どもスタッフとして何年にもわたり、保育園訪問や敬老会、地域の祭りや清掃活動等各種行事の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
13	本土児童館リトルサポーター(3名)篠原由菜子、大石茉里奈、森一華	思いやり	本土児童館のリトルサポーターとして何年にもわたり、赤い羽根共同募金、児童館祭り等各種行事の企画・運営に積極的に参加し、地域に大きく貢献
14	根本交流センター一輪車クラブ(1名)高橋絢子	元気	根本交流センター一輪車クラブに6年間参加し、リーダーシップを発揮して活動の充実に貢献
15	南姫中学校 土曜学習ボランティア 柴陽香、吉村果純	思いやり	2年以上にわたり、市教育委員会が実施する土曜学習講座に中学生ボランティアとして参加し、参加者の学習の深まりに大きく貢献
16	小泉中学校 土曜学習ボランティア 黒田初葉、佐藤義将	思いやり	2年以上にわたり、市教育委員会が実施する土曜学習講座に中学生ボランティアとして参加し、参加者の学習の深まりに大きく貢献

願いをもち、他者のために貢献した 16 の団体が上記のように承認されました。今後も、児童生徒の自己肯定感の伸長のため、教育長賞詞の制度を継続します。活躍する多くの児童生徒の推薦をお願いします。

スマイルブック活用セミナー



3月16日(土)、市役所駅北庁舎で「スマイルブック活用セミナー」を開催しました。

多治見市教育委員会はインクルーシブ教育を推進しています。「スマイルブック」は、発達の特性や必要な支援など、「その子の笑顔(スマイル)」を支えるための情報を蓄積し、関係者が共有するためのファイルです。幼保小中を通じて、その子への切れ目のない支援を実現するための、大変重要なツールであると捉えています。

この日は、スマイルブックを持つことを決意された10名の保護者が参加され、担当者の説明を聞きながら、どう活用するかについてイメージされました。

スマイルブックを持ったことをママ友に秘密にした方がいいですか

こんな質問をいただきました。「ご不安は本当によく理解できます。所持も、情報の共有、公表ももちろんお子さんとお家の方のお気持ち次第ですよ」とお答えしました。そんなご不安を少しでも軽くすることが教育委員会の責務です。その子本人やご家族が、自分の、我が子の発達の特性について理解し、受け止め、周囲との関係調整を図りながら将来の自立に向けて歩みを進める道しるべとしてスマイルブックが機能するよう、今後も周知を進めます。

平成 30 年度 第 2 回教育行政評価委員会

3月18日(月)、今年度2回目の教育行政評価委員会を行いました。委員長である名古屋大学の南部先生をはじめ、5人の委員の皆様、本年度の教育施策の進捗を事務局から報告し、ご意見をいただきました。

「事業の成否について根拠を明確にして記述してほしい」「いじめ防止の取り組みは重要。更に強化を」「入学準備金の前年度支給、学校内での学童保育の実施など素晴らしい施策がたくさんある。もっと市民に伝えて」等貴重なご意見をいただきました。審議を終え、市ぐるみで子どもを育てていくことの大切さを改めて強く認識することができました。

< 4月の行事から >

- 1日(月) 辞令交付式・転任教職員受入式
- 8日(月) 始業式・中学校入学式
- 9日(火) 小学校入学式
- 18日(木) 全国学力学習状況調査
- 19日(金) 多治見市教育研究会総会
- 24日(水) 転入管理職研修会

< 5月の行事から >

- 10日(金) 青少年まちづくり市民会議理事会
- 10日(金) 校長会
- 18日(土) 多治見市PTA連合会定期大会
新役員紹介。活動計画報告。講演会
- 27日(月) 東濃地区教育推進協議会総会
- 28日(火) 教育委員会会議